

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 永大化工株式会社
 コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 服部憲治
 (氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,736	△26.6	96	—	92	—	△209	—
21年3月期第3四半期	6,451	—	△137	—	△145	—	△310	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△30.62	—
21年3月期第3四半期	△45.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,915	4,691	58.7	677.70
21年3月期	8,397	4,917	58.0	711.02

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,645百万円 21年3月期 4,874百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,281	△22.5	78	—	62	—	△235	—	△34.28

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

[除外1社 (社名 永代化工(上海)有限公司)]

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 7,300,000株 21年3月期 7,300,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 445,367株 21年3月期 444,167株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 6,855,673株 21年3月期第3四半期 6,857,962株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機後の景気悪化に対する各国の経済対策により、企業収益の回復など、一部で緩やかな改善が見られましたが、依然として雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など厳しい経済環境が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおける業績の概況は次の通りとなりました。

自動車用品関連につきましては、エコカー減税や買い替え補助策の効果により、自動車販売台数が回復したことから、当社のOEM純正フロアマットの受注が増加し、売上高は前年同期にはおおよびませんでした。当初予想を大きく上回りました。

産業資材関連につきましては、住宅需要の低迷から住宅関連用部材の売上高が減少し、オフィス需要の低迷などにより鋼製家具用部材の売上高についても減少しました。また、事業譲渡した合成木材関連部門の売上の計上が当四半期連結会計期間よりなくなったことなどから、売上高は前年同期に比べ大きく減少しました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は47億36百万円（前年同期比26.6%減）となりました。

利益につきましては、事業本部の統合および再編、不採算取引の解消などによる営業体制の見直し、希望退職者の募集による人件費の削減などの経営構造改革を実施し、適正な企業規模への徹底的なスリム化を行った結果、営業利益96百万円（前年同期は営業損失1億37百万円）、経常利益92百万円（前年同期は経常損失1億45百万円）となりました。

また、第2四半期連結会計期間において、特別損失として有形固定資産の減損処理による減損損失を1億72百万円、遊休設備等の廃棄処分による固定資産除却損を27百万円、希望退職者募集に伴う割増退職金等を特別退職金として97百万円、退職者にかかる退職給付債務の減少による費用を退職給付引当金繰入額として35百万円を計上していることから、四半期純損失が2億9百万円（前年同期は3億10百万円の四半期純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は79億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少しました。

(流動資産)

流動資産では現金及び預金の増加3億79百万円、売上債権の減少3億49百万円、たな卸資産の減少2億56百万円などが主な要因となり、47億1百万円と前連結会計年度末と比べ1億54百万円の減少となりました。

(固定資産)

固定資産では減損処理1億72百万円および通常の減価償却などによる有形固定資産の減少3億40百万円、投資その他の資産の増加13百万円などが主な要因となり、32億13百万円と前連結会計年度末と比べ3億28百万円の減少となりました。

<負債の部>

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、32億24百万円と前連結会計年度末と比べ2億56百万円の減少となりました。

(流動負債)

流動負債では仕入債務の増加1億93百万円、短期借入金および一年内返済予定の長期借入金の減少1億26百万円、賞与引当金の減少31百万円、関係会社整理損失引当金の減少12百万円などが主な要因となり、21億55百万円と前連結会計年度末と比べ1億8百万円の減少となりました。

(固定負債)

固定負債では長期借入金の約定返済による減少1億69百万円、繰延税金負債の増加3百万円、退職給付引当金の増加55百万円などが主な要因となり、10億68百万円と前連結会計年度末と比べ1億47百万円の減少となりました。

<純資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少および評価・換算差額等の増加などにより、46億91百万円と前連結会計年度末と比べ2億26百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の業績予想(連結・個別)に関しましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成21年11月6日に公表いたしました予想数値を変更しております。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

永代化工(上海)有限公司は、第3四半期連結会計期間において持分のすべてを売却したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度(平成21年3月期)まで3期連続の当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても四半期純損失を計上しており、当該状況により継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

当該事象を早期に解消すべく以下のとおり経営構造改革を実施遂行し、経済環境の悪化に対して迅速に対応できる体制を整えております。

国内生産拠点においては、事業本部の統合および再編の実施を行い営業力の強化や生産効率の改善を図るとともに、不採算取引の解消、コスト削減による収益力の向上に努めております。

その一環として、合成木材製品を生産しておりましたストランドックス事業部門を平成21年10月1日付をもって株式会社K&Mに事業譲渡を行い、また、適正な企業規模への徹底的なスリム化が必要不可欠であると判断し、希望退職者の募集を行いました。

一方、海外生産拠点においては、不採算となっていた連結子会社2社のうち中国の永代化工(上海)有限公司については、当社が保有する全持分を中国企業のPOLYPROPYLENE ALLIANCE LIMITED(聯業膠筒廠有限公司)に譲渡を行い、台湾の楠泰塑膠股份有限公司については、清算手続中であります。今後においては、海外生産拠点をベトナムに集約し、より一層の生産性の効率化を目指してまいります。

このような経営構造改革により生産性の効率化に努め、収益構造を再構築し、早期の業績回復を図ってまいります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,281,977	902,808
受取手形及び売掛金	1,900,076	2,249,929
有価証券	124,575	130,670
商品及び製品	610,716	801,792
仕掛品	147,451	184,724
原材料及び貯蔵品	488,014	516,494
その他	148,877	69,465
貸倒引当金	△70	△69
流動資産合計	4,701,619	4,855,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,036,435	1,149,919
土地	1,544,809	1,549,284
その他(純額)	228,090	451,021
有形固定資産合計	2,809,334	3,150,225
無形固定資産	3,049	4,264
投資その他の資産	401,104	387,334
固定資産合計	3,213,488	3,541,825
資産合計	7,915,108	8,397,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,261,801	1,068,750
短期借入金	238,916	327,600
1年内返済予定の長期借入金	256,017	293,836
未払法人税等	6,874	11,481
賞与引当金	18,270	49,284
関係会社整理損失引当金	208,051	220,909
その他	166,031	292,892
流動負債合計	2,155,962	2,264,754
固定負債		
長期借入金	482,940	652,671
繰延税金負債	40,340	36,715
再評価に係る繰延税金負債	373,470	373,470
退職給付引当金	144,369	89,234
役員退職慰労引当金	17,325	54,767
その他の引当金	—	4,254
その他	9,693	4,328
固定負債合計	1,068,138	1,215,441
負債合計	3,224,100	3,480,196

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	2,308,770	2,941,088
自己株式	△172,027	△171,909
株主資本合計	4,582,196	5,214,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,165	△22,824
繰延ヘッジ損益	△6,920	△12,307
土地再評価差額金	384,763	△33,160
為替換算調整勘定	△292,499	△271,717
評価・換算差額等合計	63,178	△340,009
少数株主持分	45,632	42,822
純資産合計	4,691,007	4,917,446
負債純資産合計	7,915,108	8,397,642

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,451,927	4,736,920
売上原価	5,364,520	3,663,310
売上総利益	1,087,406	1,073,610
販売費及び一般管理費	1,224,729	977,265
営業利益又は営業損失(△)	△137,322	96,345
営業外収益		
受取利息	3,842	2,484
受取配当金	2,178	1,856
受取賃貸料	—	9,693
投資有価証券運用益	5,782	—
助成金収入	7,000	—
その他	15,645	24,848
営業外収益合計	34,448	38,882
営業外費用		
支払利息	8,397	15,387
為替差損	31,307	4,754
賃貸費用	—	7,006
その他	3,178	15,964
営業外費用合計	42,883	43,113
経常利益又は経常損失(△)	△145,757	92,115
特別利益		
固定資産売却益	10,086	2,092
賞与引当金戻入額	—	46,500
関係会社出資金売却益	—	8,771
事業譲渡益	—	6,485
特別利益合計	10,086	63,849
特別損失		
固定資産売却損	—	215
固定資産除却損	1,293	27,080
投資有価証券評価損	23,516	—
たな卸資産処分損	—	19,788
減損損失	136,078	172,041
関係会社整理損	—	7,995
特別退職金	—	97,149
退職給付引当金繰入額	—	35,331
特別損失合計	160,888	359,603
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,559	△203,638
法人税、住民税及び事業税	10,013	6,418
法人税等調整額	△1,064	△3,378
法人税等合計	8,948	3,039
少数株主利益	4,682	3,214
四半期純損失(△)	△310,190	△209,893

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△296,559	△203,638
減価償却費	88,478	133,208
長期前払費用償却額	32,644	21,738
減損損失	136,078	172,041
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△149	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,410	△31,014
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,269	△37,442
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,194	55,134
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△17,087
受取利息及び受取配当金	△6,020	△4,340
支払利息	8,397	15,387
為替差損益(△は益)	—	3,159
投資有価証券運用損益(△は益)	△5,782	—
投資有価証券評価損益(△は益)	23,516	—
関係会社出資金売却損益(△は益)	—	△8,771
事業譲渡損益(△は益)	—	△6,485
固定資産売却損益(△は益)	△9,925	△1,876
固定資産除却損	1,132	27,080
売上債権の増減額(△は増加)	139,884	349,853
たな卸資産の増減額(△は増加)	△303,081	207,580
仕入債務の増減額(△は減少)	108,649	193,050
未払消費税等の増減額(△は減少)	516	—
その他の資産・負債の増減額	△4,005	△149,016
その他の損益(△は益)	5,876	△605
小計	△85,297	717,956
利息及び配当金の受取額	9,605	6,244
利息の支払額	△8,197	△13,976
法人税等の支払額	△22,645	△10,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,534	699,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,544	△24,547
有形固定資産の売却による収入	54,497	4,073
投資有価証券の取得による支出	△158,421	△12,530
投資有価証券の売却による収入	106,744	—
貸付けによる支出	—	△7,500
事業譲渡による収入	—	40,175
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による収入	—	4,339
その他	△9,645	△9,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,369	△5,827

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	234,770	△88,684
長期借入金の返済による支出	△145,407	△220,377
自己株式の取得による支出	△84	△117
少数株主への配当金の支払額	△7,417	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,860	△309,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,301	△11,725
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△123,742	373,073
現金及び現金同等物の期首残高	775,712	1,033,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	651,970	1,406,552

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。